

東京駅前の商業施設「KITTE」にて警備ロボット『SQ-2』の実証実験実施！

～商業施設での警備ロボット本格運用にむけて～

SEQSENSE株式会社（代表取締役：中村 壮一郎 以下、「SEQSENSE」）は、JPタワー商業施設「KITTE」（キッテ）にて自律移動型警備ロボット『SQ-2（エスキューツ）』を用いた実証実験を2021年5月24日～6月30日まで実施いたしました。



● 実証実験実施の背景

今回実証実験を実施した日本郵便株式会社の商業施設「KITTE」は、東京駅周辺のランドマークであるとともに、東京駅と有楽町方面を結び、歩行者ネットワークを形成しており、コロナ禍でも依然人通りが多く、警備員による巡回のニーズが存在します。

昨今、コロナ禍の影響もあり日本経済全体が落ち込みを見せる中、警備業界の令和2年12月時点の有効求人倍率は6.82倍と人材獲得が難しい状況です。SEQSENSEは、今回の実証実験から得られた警備・管理業関係者からの声をもとに、より多くの顧客にご活用いただけるロボットおよびサービスの開発を進め、今後も人手不足解消に努めて参ります。

● 実証実験の概要

期間：2021年5月24日（月）～6月30日（水）

場所：「KITTE」地下1階共用通路

実証実験内容：自律走行による巡回業務性能、立哨業務性能の検証等

- SEQSENSEの提供する警備ロボットシステムについて

SEQSENSEは自律移動型警備ロボット『SQ-2』と、お客様自身でロボットを運用し警備業務に利用していただけるクラウドシステムを含めて、警備ロボットシステムとして2019年よりプロダクトを提供しております。

『SQ-2』は、3次元センサ技術・自己位置推定・リアルタイム経路計画など高度なテクノロジーを駆使することで生まれた自律移動型の警備ロボットです。人手不足が深刻な警備業界において、各種警備業務の労力削減を実現します。独自開発の3D LiDAR(三次元の距離情報を計測するセンサ)を搭載することにより、比類のない広視野角を実現し、警備対象物件の詳細な3次元マッピング、床に置かれた障害物や歩行者をはじめとした移動物体の発見、環境変化の検出を行うことが可能です。センシングの結果を自己位置推定および経路計画に利用することで繰り返し安定した移動を行うことができ、また、人や障害物などとの接触を防ぐことが可能となります。

また、自社開発のクラウドシステムは、警備員の皆様からのフィードバックを基に、使いやすく、実際の警備に必要な機能を提供しています。このクラウドシステムを使い、警備拠点から遠隔でロボットに各種警備業務（巡回、立哨、動哨）に関する指示を出すことができます。ロボットから送られてきた情報はすべてクラウド上に蓄積され、巡回結果のレポート作成や、ロボットに搭載されたカメラのストリーミング動画の録画再生といった機能をいつでもご利用いただけます。

ロボット、クラウドシステムどちらも日々開発を継続し、より良いものへと進化しています。新たな機能や不具合解消などは日々の遠隔アップデートでお客様のもとにお届けするため、常に最新の製品をご利用いただけます。詳細は下記動画をご覧ください。



◆SEQSENSE株式会社（シークセンス カブシキガイシャ）

所在地 : 東京都千代田区内幸町2丁目2-3

事業概要 : 自律移動型ロボット及びその関連製品の開発

代表者 : 中村 壮一郎

創業 : 2016年10月3日

URL : <https://www.seqsense.com>

◆J Pタワー商業施設「KITTE」施設概要

所在地 : 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
開業日 : 2013年3月
階 数 : 地上 6階・地下1階
URL : <https://marunouchi.jp-kitte.jp>
事業主 : 日本郵便株式会社

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000025363.html>

SEQSENSE株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/25363
